

3年ぶりの家族懇談会！

コロナ禍で施設や病院が、閉鎖された空間となって早くも3年。ひまわりの郷では他の施設の様子も見ながら、ご家族の施設入場を検討していましたが、やっと実現しました。

10月に小規模ながら、3年ぶりに家族懇談会を開催しました。5類になったとはいえ、まだまだ感染が心配な時期である事も踏まえ、ご家族の人数制限及びN95マスクの着用をお願いしての開催となりました。開催時間はとても短くなってしまいましたが、久しぶりにご利用者とご家族と触れ合う事ができ、沢山の笑顔を見る事が出来ました。また、中止となった夏祭りの意気そのままに、職員による催し物（フラダンスとソーラン節）を披露させてもらいました。ご家族の前で初めて披露する職員も多く、緊張感のあるお披露目となりました。家族懇談会の実績、同地域他施設の状況、厚労省や県の発表する感染状況を勘案して、ご面会の方法も常に考えています。12月からの居室面会もその結果です。



2023年12月1日第1版発行

特別養護老人ホームひまわりの郷 主任会議編集

季刊誌「日車通信」第7刊号 発行責任者：二ノ宮 喜博



約3年ぶりに開催された家族懇談会。写真は自己紹介するユニットリーダーたち。この他、職員によるフラダンスやソーラン節等の余興も披露されて、和やかな雰囲気を醸しました。その中で、ご利用者とご家族の交流、日頃の生活のご様子を説明する職員とで懇談は進められました。

第3回ひまわりカフェ開催

令和5年9月17日（日）に第3回目となるひまわりカフェを開催しました。今回は「紙粘土」を使ったモノづくりを行いました。1回目2回目と開催したカラオケから、雰囲気を変えた第3回ひまわりカフェですが、会話を楽しみながら紙粘土で色々な物を作り施設職員と地域の方々との交流が図れました。交流中、施設を見てみたいという要望があり急遽、感染症対策を実施し、ショートステイのユニットをご案内



↑ちょっと早め！
可愛らしいウサギ
と団子の作品

↓和やかな雰囲気の中、
熱心に粘土をこねる
参加者



し施設の中の雰囲気を見ていただきました。また、在宅介護で色々な手技に悩んでいる方には介護職員が在宅での状況をお聞きし、実際にデイフロアに置かれているベッドを使用して移動技術やオムツ交換の技術を見てもらえました。介護技術は人に相談しにくいことも多くあると思うのでひまわりカフェを通じて地域の方が専門職である介護職員へ相談しに来ていただければ幸いです。

バザー開催！！ コロナ流行に伴い令和元年を最後に中止していたひまわりの郷バザーを久しぶりに開催しました。地域の方々やご利用者ご家族、職員から寄付を集い、皆様のご厚意で集まったたくさんの品物。職員もはりきって準備にいそしみました。当日は晴天に恵まれましたが、数年間の休止期間が響いたのか以前ほどの人は集まらず、それでも約30名の地域の方々にご来場頂きました。皆様商品を手に取り、ある方は真剣に吟味、またグループで来られた方はワイワイとおしゃべりしながらにぎやかに。会場では施設の管理栄養士が作ったちらし寿司も販売、こちらも好評でした。売り上げは利用者様のレクレーションやイベント時に使用させていただく予定です。地域の方々とこの貴重な交流の機会でもあるバザー、状況が許す限り続けてまいります。



フルーツ バイキング

食欲の秋！実りの秋！ ということで、少し遅くなりましたが、11月に旬の果物を使ったフルーツバイキングを開催しました！

なかなか新鮮な果物を提供することが難しく、この催しで美味しい旬の果物を召し上がっていただきました。委託会社の一富士フードサービスにも協力いただき、デザートタワーに果物やケーキ、ゼリー等、色鮮やかに並んで見た目も華やか。柿、みかん、りんごの3種類の果物はミキサー食まで



展開し、食形態に関係なく、召し上がっていただきました。なかには「柿は甘いから最後に食べた方がいいよ！」とお話しされながら召し上がられる方も。甘いものがお好きな方が多く、席に着いてすぐ食べ始めたり、いつもより大きく口を開けて召し上がられたり、「美味しいね」

「特別な日だね」と皆様笑顔でご参加いただきました。今後も利用者様に喜んでいただける食事レクレーションを実施していきます。



おやぢがやってみた！

現代の荒波に負けない労働者の先達として、総務長にサプリメントの話聞いた。総務長はサプリメントおやぢである。複数のサプリメントを毎日摂取しているのだ。総務長が摂取しているのはDHA、EPA、カルシウム、マグネシウムの4種類。DHAやEPAは魚油に含まれる栄養素で青い魚に多く含まれる。中性脂肪、コレステロール上昇の抑制や免疫の調整、血圧上昇の抑制、神経の活性と安定に効果がある。カルシウムとマグネシウムはどの食品にもごく少量含まれるが、そもそも、人体に吸収されにくい。骨粗鬆症、筋肉活動の調整、神経の安定、糖尿病予防などに効果がある。

総務長は毎食後6錠、1日に18粒のサプリメントを服用している。それで、体調の良さを実感している。また、魚を食べる機会が減り、サプリメントで必要な栄養素摂取を補えるのは助かる。それでいてかかる費用は月々3,000円程度。満足度を考えるとお得かも！※栄養サプリメントは栄養補助食品です。薬ではありませんが容量を間違えると健康を害する恐れもあります。ご使用の際は、よく下調べをして正しく摂取してください。



日輪の人

運転と営繕

(横顔)

デイサービスの朝夕の送迎に係る時間は、凡そ1時間。安全運転と、道路はみんなの物。家々の近くに停車し、方向転換し、時に車を離れて乗車を手伝う。

この業務がどれだけの緊張をはらむか、想像できる人は少ない。併せて運転業務のない時間は施設の営繕や清掃を担う。天井の照明交換。3階建ての屋上の縁で行う落ち葉払い。車イス洗浄。まさに縁の下の力持ち。ドライバーも介護職員他と共に施設を支えている。



左から：小澤、熊谷、渡辺、大野、富田、高橋

元気いっぱい！ ひまわりの郷デイサービスです！

ここの所、寒さも増して体調管理に一段と力が入る毎日です。4月に入職した新しい職員もすっかり慣れた様子で、さらに9月からは専属の看護師が常駐となり、『楽しく！安心！して過ごせるデイサービス』を目指し、体制の強化を進めております。また、数か月前からは、送迎時間を固定させて頂く等、業務の効率化とご利用者様のご負担の軽減の両面からのアプローチによる仕組み作りに努めております。なかなか思い描いた通りにならない事も多く、頭を悩ませる事もありますが、各職員の協力を得ながら日々のデイサービス運営を行っています。そこは職員のチーム力の凄さを感じます。度重なる体制の変更等でご迷惑をお掛けしておりますが、それでもご利用を継続して下さり応援してくださっているご利用者様・ご家族様には感謝しかありません。中にはひまわりの郷しか利用しない！なんて言って下さる方も(/_;) 今後も高みを目指し、発展途上にあるデイサービスを見守って頂けたら幸いです。

デイサービス新職員のご紹介



熊澤看護師

高木看護師

居宅介護支援センター ひまわりの郷より

高齢になっても自宅ですべて元気で過ごしたい、と願ってはいても、病気、けが、寄る年波等々の事情で、今までと同じような生活が続けられなくなった時、少し手助けを受けられれば自宅が変わらず生活ができるかもしれません。そのようなご相談をお受けするのが居宅介護支援センターです。

現在、居宅介護支援センターひまわりの郷はケアマネジャー2名体制で業務を行っています。

介護についての相談依頼があると、まずはご本人、ご家族より困っていること、今後どうされたいのかをお聞きし、必要と思われる介護サービス等をご紹介していきます。サービス利用開始後は月1回の訪問をし、体調、望む生活について変化はないか、サービス利用について支障はないかを確認し変化があれば再度サービス調整をしていきます。

相談して困りごとが即、解決とはならないかもしれませんが、が誰かに話すことは、最初の一步にはなると思います。ご相談お待ちしております。



えうれか！ (見つけたゾ！わかったゾ！)

こんにちは。ひまわりの郷の介護部門長です。

今回の「えうれか」については介護職員の資格状況をお伝えできればと思います。

私ことながら介護部門長を務めさせていただき丸10年が経過しました。そんな10年前の介護部門はお恥ずかしい話ではありますが、国家資格である介護福祉士の保有資格者が10名弱しかおりませんでした。もちろん国家資格があるからといって、いいサービスが提供できるかと言ったら決してイコールにはなりません。当時を思い返すと職員に「国家試験受験してみたらどうですか？」というのを口癖のように言っていた事を思い出します。

では、現時点での国家資格保有率ですが、有難い事に全介護職員の7割程度が介護福祉士取得まで至りました。近年では私が言わずとしても積極的に受験を志す職員が多くなってきており、とても嬉しく思います。7割という数字は、全国の介護老人福祉施設で働く介護職員の内の介護福祉士の割合と同じです。資格だけで言えば、全国レベルに届いたということになりますが、実は、ひまわりの郷の離職率は全国レベルに比べて著しく低く、在職年数は高い傾向にあります。つまり、介護福祉士という専門職の経験年数が高いということ。資格を持ち、経験を積むことが専門職にとっては大きな強みとなります。将来的にもこの強みを施設サービスに活かしていきたいと思っております。

特別養護老人ホーム ひまわりの郷 (短期入所含む)

保有資格	人数
介護福祉士	38
実務者研修 (旧ヘルパー1級)	12
初任者研修 (旧ヘルパー2級)	6
無資格	1

デイサービスセンターひまわりの郷

保有資格	人数
介護福祉士	7
実務者研修 (旧ヘルパー1級)	4
初任者研修 (旧ヘルパー2級)	4
無資格	0

来年、2024年には介護保険法の改正があり、無資格では働けなくなるという事を踏まえて一昨年より事業所内で実務者研修の講習会を開講しています。引き続き、介護職員が社会性・専門性を伸ばし活躍してくれる事を祈っています。

最後に、ご存じではない方もおられるかと思っておりますので、一応ご紹介しておきますと、ひまわりの郷の職員は有資格者だらけです。資格だけで申しますと、介護支援専門員、社会福祉士、看護師、管理栄養士、この辺りは福祉施設では当たり前。たまたまですが、保育士や電気工事士もいます。聞きなれないところでは、福祉施設士という資格もあります。これは福祉施設の「長」となるべき人、つまり、施設長が取得しておく資格です。

編集後記：聖書の「公正を愛し、強奪と不正を憎んでいる (イザヤ61:8)」は誰の言葉だったか。これは聖書に書かれた人物の話だけではなく、多くの方が同様に思っていると信じています。しかし、そんな風に信じている私の中に「少しなら大丈夫」と囁く小さな悪魔がいます。そんな小市民代表です。おかげで、血糖値がなかなか下がらない。西の神様の発祥地で多くの血が流され、多くの方が苦しんでいます。世界の穀倉庫で起きた「強奪と不正」もこの冬で丸2年になります。酷いものです。酷いといえばキックバックの方々。酷いですね。僅かのお金に一喜一憂している小市民代表としては、政治家の皆さんに、是非とも、きちんと説明し、公正さを取り戻してほしいですね。あんまり酷い話だから、ちょっと前に騒がれていた話を忘れてしまい……。ああ、思い出しました、聖書の「公正を愛し、強奪と不正を憎んでいる」と言ったのは「エホバ」でした。やれやれ。 Y